

○琴丘支所・山本支所

日 程	令和2年9月9日(水)
会 場	議長室
開 会	午前9時00分～午前9時51分
出席委員	伊藤千作(委員長)、清水欣也(副委員長)、 工藤秀明、安藤賢藏、金子芳継
欠席委員	なし
説 明 員	琴丘：工藤支所長、岡本係長、石川主査 山本：後藤支所長、内藤補佐、佐々木係長

No.	質疑応答の概要
	○琴丘支所
1	P22 青春館コンサートホールの利用状況は。また、小夢の使用料は。 <input type="checkbox"/> 答 コンサートホールは町外の方にも多く使用されていたが、近年は設備の老朽化やコロナの影響により利用者は減少傾向である。また、小夢の使用料は定額である。
2	P40 乗車券の販売で高校生の定期券等の購入状況は把握しているか。 <input type="checkbox"/> 答 把握していない。
3	P40 乗車券販売手数料の受託先及び業務の委託先は。 <input type="checkbox"/> 答 受託先はJRである。また、業務は公募により2人に駅管理を委託している。
4	P44 雑入に青春館JR電気料があるが、内容は。 <input type="checkbox"/> 答 青春館は町の施設であり、駅部分についてはJRから負担してもらっている。
5	P46 ひまわりセンター電話使用料で、社協負担分とは。 <input type="checkbox"/> 答 社会福祉協議会で行っているデイサービス事業等の負担分である。
6	P64 草刈等作業員の選考方法は。 <input type="checkbox"/> 答 公募により選考している。
	○山本支所
7	P38 財産区特別会計からの繰入金は何か。 <input type="checkbox"/> 答 下岩川地区振興会への補助金分等として繰り入れている。
8	P64・146 冬囲作業員の内容は。 <input type="checkbox"/> 答 金陵の館及び森岳駅前公園の冬囲作業である。作業の特殊性から公募ではなく、経験のある方を任用している。
9	P68 山本総合支所高圧気柱開閉器取替工事とは。 <input type="checkbox"/> 答 支所等に電気を引き込む設備だが、老朽化で東北電力の指導により修繕工事を行ったものである。

○総務課（選挙管理委員会事務局）

日 程	令和2年9月9日（水）
会 場	議長室
開 会	午前9時56分～午前10時44分
出席委員	伊藤千作（委員長）、清水欣也（副委員長）、 工藤秀明、安藤賢藏、金子芳継
欠席委員	なし
説 明 員	石井課長、三浦補佐、後藤補佐、川村係長、石井係長、嶋田主席主査 近藤主席主査、田中主査

No.	質疑応答の概要
1 0	P18 子ども・子育て支援臨時交付金の内容は。 <input type="checkbox"/> 答 令和元年度限りの臨時交付金である。保育・教育の無償化に対応するため、4月から9月までの消費税増税相当額が交付されるものである。令和2年度以降は、通常の交付金や地方交付税に算入されるものである。
1 1	P18 地方交付税の今後の見込みは。 <input type="checkbox"/> 答 令和3年度から一本算定となるほか、交付算定の基礎数値である人口や学校再編の影響が考えられるため、今後も減少していくものと考えている。これまでの推移ではピークが平成24年度で現在5億円程度減少している。
1 2	P44 宝くじ交付金の配分方法及び推移は。 <input type="checkbox"/> 答 サマージャンボ・ハロウィンジャンボの収益金の一部が県の市町村振興協会へ交付されるものであり、4/10が均等割、6/10が人口割で市町村へ交付されるものである。交付額は年々減少している。
1 3	P84 下岩川財産区の選挙は町が執行しなければならないのか。 <input type="checkbox"/> 答 財産区議会議員は公職選挙法に基づき4年に1度実施する。財産区も地方公共団体となるので、公職選挙法の規定により町の選管で実施しなければならない。
1 4	P188 財政調整基金が毎年積み立てを行い増額となっているが。 <input type="checkbox"/> 答 年度末の事業費精査による一般財源の減額で財政調整基金への積み立てが続いている。予算見積もりの精査も必要と考えている。
1 5	P314 令和元年度末の基金残高が、財政調整基金が約40億、特定目的を含め町全体で約64億となっている。今後の方向性及び見込みは。 <input type="checkbox"/> 答 公共施設の統廃合に多額の経費が予想される。過疎債や合併特例債等の有利な起債も期限があることから、一定額の基金の確保は必要と考える。産業振興のための基金の創設など今後検討していきたい。

○税務課

日 程	令和2年9月9日(水)
会 場	議長室
開 会	午前10時58分～午前11時54分
出席委員	伊藤千作(委員長)、清水欣也(副委員長)、 工藤秀明、安藤賢藏、金子芳継
欠席委員	なし
説 明 員	金子課長、石井補佐、成田補佐、平塚係長、川村係長
No.	質疑応答の概要
	<b>一般会計</b>
16	P12 釜谷浜の陸上風力発電の固定資産税収入は。 <input type="checkbox"/> 答 発電機が17基あり、令和元年度では12,323,800円の収入となっている。平成18年度に設置されて以来、344,714,800円の収入となっている。
17	P12 不納欠損の状況は。 <input type="checkbox"/> 答 不納欠損額は年々増加している。令和元年度は固定資産税において大口の欠損処理があった。
18	P14 入湯税の申告状況及び収入未済について。 <input type="checkbox"/> 答 入湯税は施設の利用者数を申告してもらっている。令和元年度はゆうばるの休業やコロナ感染症拡大により大きく落ち込んでいる。 収入未済についてはコロナ感染拡大の影響により発生した。6月には納付となっている。職員による確認不足も要因と考えられる。
19	P16 ゴルフ場利用税交付金の実績は。 <input type="checkbox"/> 答 ゴルフ場利用税は町、県納付分合わせて1人500円で、年間3万人程度の利用者である。
20	P80 税金納付の現状は。また、納税組合の状況は。 <input type="checkbox"/> 答 納税の方法が多様化しており、現状は口座振替が33.3%、自主納付(コンビニ納付含む)35.9%、納税組合が14.3%となっている。 納税組合数は現在166組合であり、毎年10組合程度の減となっている。町としては納税対策として納税組合の効果はあると考えている。
	<b>国民健康保険事業勘定特別会計</b>
21	P199 滞納繰越分の収納率が低いのでは。また、収納対策は。 <input type="checkbox"/> 答 滞納繰越分の収納率は最近では14～15%で推移している。新たな未納を発生させないため、現年課税分を優先して収納しているため、滞納繰越分の収納率が低い状況が続いている。収納対策として滞納者の預金等の財産調査は行っている。

○会計課

日 程	令和2年9月9日(水)
会 場	議長室
開 会	午後1時00分～午後1時13分
出席委員	伊藤千作(委員長)、清水欣也(副委員長)、 工藤秀明、安藤賢藏、金子芳継
欠席委員	なし
説 明 員	平澤課長、国塚補佐
No.	質疑応答の概要
22	P20 コピー使用料の内容は。 <input type="checkbox"/> 答 来庁者による私的利用で、令和元年度は白黒のみで1枚10円で270件の利用があった。

○議会事務局（監査委員事務局）

日 程	令和2年9月9日（水）
会 場	議長室
開 会	午後1時15分～午後1時31分
出席委員	伊藤千作（委員長）、清水欣也（副委員長）、 工藤秀明、安藤賢藏、金子芳継
欠席委員	なし
説 明 員	桜庭事務局長
No.	質疑応答の概要
23	P86 監査委員費の旅費の内訳は。 <input type="checkbox"/> 答 町村監査委員全国研修会の監査委員及び随員職員の旅費と、監査時における費用弁償として車賃（1km37円）を支出している。

○企画政策課

日 程	令和2年9月9日(水)
会 場	議長室
開 会	午後1時32分～午後2時40分
出席委員	伊藤千作(委員長)、清水欣也(副委員長)、 工藤秀明、安藤賢藏、金子芳継
欠席委員	なし
説 明 員	金子課長、加藤補佐、清水補佐、西村係長、伊藤係長、大村係長
No.	質疑応答の概要
24	P36 財産貸付収入の光通信網設備貸付とは。 [答] 山本地域の光ケーブルは町で整備したため、NTTが町からケーブルを借り受けしてサービスを行っている。
25	P44・62 雑入の東部難視解消施設支障移転補償費とは。 [答] 三種川の河川改修に伴う、長面地区の宮橋架け替えによる、光ケーブルや河川監視カメラの移設補償費である。移設経費は6,363,336円である。
26	P46 雑入のふれあいバス等自動車保険金の内容は。 [答] ふれあいバスの自損事故の保険金3件分である。内訳は、浜口2件及び鶴川1件である。
27	P60 地域おこし協力隊の活動状況及びこれまでの実績は。 [答] 現在1人が移住定住、空き家対策で活動している。これまで6人着任している。なお、任期終了者5人中三種町在住者は1人である。
28	P62 町の光ファイバー事業の収支バランスは。また、施設の耐用年数は。 [答] 概ね収支均衡している。施設の耐用年数は概ね10年である。
29	P64 若者活動支援事業の実績は。 [答] 若者が取り組む活性化事業への助成で、令和元年度は8団体の実績となった。令和2年度で3年目となる。
30	P76 結婚支援事業の実績及び縁結びサポーターの活動内容は。 [答] 成婚された方が16組で、縁結びサポーター関連は1組である。縁結びサポーターは月に1回情報交換会を行っているほか、婚活イベントの支援等も行っている。
31	P76 移住定住支援業務の内容は。 [答] 三種町への定住に感心がある方に、トレジャーツアーにより来訪し仕事や住居など町の現状を見学してもらっている。また、首都圏でのPR活動や三種町の情報発信も行っている。業務は「なんとすみたね」という団体に委託している。

上記会議の次第を記載し、その相違ないことを証明するためにここに署名する。

決算特別委員会総務分科会委員長      伊 藤 千 作

